



加速器関連プロジェクトの誘致と 新しい東北の創生

一般社団法人 東北経済連合会・会長 海輪 誠

東日本大震災から約5年7カ月が経過しました。今後、東北の産業の成長を促すために、最も重要なエンジンがイノベーションです。イノベーションなくして、『新しい東北の創生』ひいては『日本再興』の実現は不可能です。

東北経済連合会（以下「東経連」）では、東北に国際科学技術イノベーション拠点を形成するため、東北地域の産学官+金融と密接に連携して、国際リニアコライダー（以下「ILC」）、東北放射光施設の実現に全力をあげています。

ILCとは、国際共同科学プロジェクトとして検討が進められている、建設費約1兆1千億円の粒子物理学実験施設です。岩手県、宮城県にまたがる北上サイトが有力な建設候補地になっております。

また、東北放射光施設とは、東北に世界最先端の中型放射光施設の整備を目指す計画です。放射光とは、いわゆる巨大な電子顕微鏡のような施設で、エコタイヤ、携帯端末ディスプレイ、燃料電池等の開発に使われてきました。東北放射光施設では、生命科学、材料、エネルギーなどの最先端の分野での活用が期待されています、まさに我が国のイノベーション創出を支える重要な研究開発基盤となります。

東経連ビジネスセンターでは、本年4月から最重点事業に「ILC・加速器産業参入支援事業」を位置づけました。ILC、東北放射光施設ともに、粒子を高速に加速する加速器という装置を用いた施設です。粒子を高速に加速させ高精度に制御するには、超精密加工技術や高度な制御技術等が求められます。

東経連ビジネスセンターでは、東北から加速器製造に関わる可能性のある約700事業所をリストアップしました。現在、これらの企業と加速器関連プロジェクトに関連する研究機関や大手企業とのマッチングに取り組んでいます。既に超伝導加速空洞等、加速器の心臓部の開発や試作に着手する東北企業がでてきています。

かつて世界第二位の経済大国であった日本の地位が下がりつつあります。我が国が再び国際的なプレゼンスを高めるには、ILC、東北放射光施設等の加速器関連プロジェクトの役割は大きいものと考えています。

東経連と致しましては、ILC、東北放射光施設の実現に向けて、『新しい東北の創生』、ひいては、『日本再興』のために活動を強化して参りますので、皆様のご支援ご協力をお願い申し上げます。